

分析試料形態 目次

- 指定形状のチューブに入れて御送付下さい →P.3
- 試料重量は50mg～150mg程度(試料間誤差10%程度) →P.4
- 試料重量を記載したリストを御送付下さい →P.4
- 固体試料の場合は予め裁断・粉碎等を行った上でチューブに入れて下さい →P.4
- 試料によっては十分な破碎が出来ない場合がございます →P.4
- 凍結試料送付時はドライアイス等の同梱をお願いいたします →P.5
- 分析開始までの保管方法 →P.5

試料容器

エッペンドルフ社製

2ml容 丸底セーフロックチューブ

品番:EP0030120094

画像参考:右端(赤点線部)

(またはそれに類する物であれば使用可能)



注意点

- 5mmビーズによる破砕をチューブ内で直接行いますので、底形状は幅の広い丸底をお願いします。
- メーカーによりチューブ厚が異なります。特に破砕時にはチューブ蓋部分に強い衝撃が当たりますので、破損する場合があります。
- エッペンドルフ社製においても破損は保障出来かねます。

試料について

- 固体試料の場合は、5mm角以下に裁断、粉碎、磨砕等を行った後、指定形状の2mlセーフロックチューブに入れて御送付下さい。
- 試料はできるだけ細かい方が化合物の抽出効率が良くなります。
- 試料量は50mg～150mg程度とし、試料間での重量誤差は10%以内程度に抑えて下さい。著しく異なる場合、抽出効率に影響を及ぼします。
- 記載の試料量はあくまでも目安であり、ターゲット及び試料により異なります。
- 測定する試料は全て秤量し、重量を記載したリストを御送付下さい。

注意点、及び備考

- 著しく硬化な物、及び繊維質の物などはジルコニアビーズで十分な破砕が出来ず、抽出効率に影響を及ぼす場合があります。
- 御相談に応じて、より破砕効率の高いタングステンビーズによる破砕や、乳鉢による前処理を行います。
- タングステンビーズはジルコニアビーズに比べチューブを破損するケースが多くなります。

試料の送付・受領、及び保管方法

- 凍結試料はドライアイスと同梱した上、クール便で御送付願います
- 凍結試料は融解等のトラブル回避の為、着日を予め御連絡下さい
- 受領後は即時開封し、ドライアイス残量等を御連絡を致します
- 分析までの試料保管方法として常温保管・4℃保管・-30℃保管・-80℃保管が可能です 御指定下さい